

令和3年度



日北小だより

10月号



2学期が始まり、早くも4週間が経ちました。夏休み気分もすぐに切り替わり、子どもたちは元気に学校生活を送っています。緊急事態宣言が解除され、中止していた「感染リスクの高い学習活動」を徐々に再開し「特に感染のリスクが高い学習活動」の再開は状況を踏まえて慎重に検討していきます。

10・11月は、5年野外活動・6年修学旅行・学習発表会など大きな行事が予定されています。制限のある学校生活はしばらく続きますが、一人一人が感染防止対策を心掛け、できることを工夫したり、アイデアを絞ったりして、充実した学校生活にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



「タブレット持ち帰り」



学級・学年閉鎖・臨時休校といった状況を想定し対応するため、学習用タブレットを持ち帰り、自宅でWi-Fiに接続できるか確認する機会を設けました。さらに4～6年生は、「おためしオンライン」（担任のタブレットとオンライン接続）を行いました。初めての試みで、スムーズにいかない場面もありましたが、今後改善しながら進めていきたいと思っています。



「欠席遅刻のメール連絡」

保護者の方々のご協力のおかげで、欠席・遅刻連絡のメールへの移行が大変スムーズに行うことができています。担任も、各教室で、タブレット内のメールで確認ができ、円滑に業務を進めていくことができています。ご協力大変ありがとうございます。



「後期児童会役員選挙」



9月24日（金）に4～6年生対象に行いました。コロナ禍で、体育館に集まれないため、ZOOMを使い、各教室に映像を流す形での実施です。立候補した子たちは、以下のような思いを真剣に話しました。

- あいさつあふれる学校にしたい。（あいさつ運動・あいさつ王決定戦・手話を使って・ニコニコスタンブラー・あいさつゲーム）
- みんなが楽しめる企画を考えたい。（レクリエーション・他学年との玉入れ大会・体育館での企画・TV放送でのクイズやビンゴ大会）
- ルールをきちんと守れるようにしたい。（時間を守る・名札を付ける・手洗いをしっかりする）
- 先生紹介をしたい。

教室で演説を聞く4～6年の子たちも立候補した子たちの話を、真剣に聞く姿が見られました。「さすが高学年」と思える雰囲気でした。

なお、投票用紙を使っての選挙に加え、6年生だけは、試行的にタブレットを使用しオンラインでの投票も同時に行いました。今後オンライン投票で全て実施することも検討していきます。

「外部からの講師の方々」

地域の方など、様々な方に学習に関してご協力をいただいています。先月は以下のような方々に来校いただき、授業のなかで講師として子どもたちに話をしていただきました。



< 9月15日（水） >

—「福祉実践教室（4年）」—

※ 社会福祉協議会の方々に来校いただきました。点字の学習をしました。



< 9月29日（水）30日（木） >

—「どうぶつなかよし教室（1年）」—

※ 地域の獣医師の方々に来校いただきました。ウサギについて学びました。



< 10月1日（金） >

—「体感アジア（6年）」—

※ アジア保健研修所の方々に来校いただきました。アジアについて学びました。

「タブレット使用の授業」

タブレット端末を使用しての授業を取り入れています。学習の中で効果的に活用できるように、本校の教職員は研修を積んだり、互いに使い方の情報共有をしたり、試行錯誤の毎日です。



漢字の学習



算数（九九）の学習



オンラインの練習



星座の学習



学習のまとめとして



曲のアレンジ

「コロナに対して」



一人一人が感染防止の意識を高く持ち、様々な場面できちんと行動できることが大切です。身体測定の時間を使い、養護教諭から、「感染しないために気を付けること」「もしもの時には、差別やいじめは絶対にしないこと」などについて、作成した動画を見ながら、話をしました。子どもたちからは大変真剣に聞いている姿が見られました。